お告げのマリア修道会
Fiat
まごころ会
2023年8月
TEL095-846-8300
QRコードからアクセスして下さい

『わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように。』

アライカプア（フィリピン）支援活動を始めました

お告げのマリア修道会では4月より、フィリピンのマニラ市にあるカトリックの団体「アライカプア」の支援活動を始めました。フィリピンは急速な経済成長を遂げていますが、その一方で貧困の格差が大きくなっています。高層ビルが立ち並ぶその足元で貧しい人々がその日の暮らしもままならない生活を送っています。

6月から7月にかけて約2週間二人のシスターがフィリピンに滞在し、ともに活動を行う機会を得ました。◎お預かりした物品（子ども服・靴・タオルなど）を届けること、◎土、日に行われる子どもたちへの給食サービスのお手伝い、◎月～金の午後、小さな子供たち（主に就学前の子どもが対象）の短時間保育、聖書の分かち合いへの参加などです。

私たちの支援活動はごく小さなものですが、フィリピンの将来を担う子供たちの希望が閉ざされることがないように、この笑顔がずっと続くように少しでも助けになればと願っています。

支援に関するお問い合わせはお告げのマリア修道会本部095-846-8300梅木まで

「総会からの新しい歩み」

「私は、キリストを映していますか」

～霊的遺産を携えて ともに沖へ漕ぎ出そう～

ラウダート・シの7つの目標

③エコロジカルな経済

エコロジカルな経済とは、人間中心ではなく、人間社会が生物圏の一部であり、生物圏は私たちがともに暮らす家である地球の中に包み込まれています。私たちは地球全体のバランスを考えながら、経済活動を進めていく必要があります。経済は人間社会のサブシステムであって、すべてではありません。

④シンプルなライフスタイルの採用

具体的には、「足るを知る」、つまりあるもので満足する生活スタイルを目指すことです。

▽私たちにできること△

・マイカーではなく公共交通機関を利用する。

・ゴミ（特に使い捨てプラスチックごみ）を出さない。

・植物中心の食生活、肉を食べないことによって二酸化炭素の削減につながります。これ以外にも野菜中心の食生活に移行することで▽果物、野菜、豆、全粒穀物（精白していない穀物で食物繊維、ビタミン、ミネラルを豊富に含んでいる）ナッツなどの植物性食品を摂取することで心臓病、糖尿病、脳卒中、がんの発生率の低下につながる。▽お肉に比べ、包装に使われるプラスチックごみが減る。▽野菜の料理はおなかにやさしく、消化に負担がかかりにくい。▽お肉の代わりになる植物性たんぱくの大豆ミートや乾物の豆は賞味期限が長くフードロスの削減につながるなどの効果が期待されます。

教会学校　幅広い年齢層　右端がカテキスタのベイビー

給食サービスに集まった子どもたち

ALAY　KAPWA は
タガログ語で
*「互いに助け合う」*と
言う意味です。

聖書の分かち合いに集まった皆さん